



## 事業実績について

受給者数は増加の傾向である。これは、最近の一人暮らし高齢者の増加に伴い、見守り施策の関心が非常に高く、市でもホームページ等でPRに努めているうえ、自治会等の地域での取組みや、介護サービス事業者が対象者を掘り起こしていることによるものと思われる。

### 乳酸飲料配布事業対象者数と事業費の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受給者数（人）	284	326	322	362
事業費（千円）	2874	3414	3631	4075

## 所管課評価

高齢化率の増加に伴い対象者が急増しているが、対象者の中で介護認定を受けている方が138人（38%）にもなっている。介護認定を受けている方は何らかの介護サービスを受けていると考えられるので、その頻度には多少の差はあるものの重複して安否確認をされているものと思われる。現在の利用者は経過措置で認めるとしても、新規利用に関しては今後介護保険サービス受給者との棲み分けを考えていく必要があると考えている。

## 外部評価結果

高齢者の見守り対策として、乳酸飲料を配布するという手段の妥当性については課題があり、見直しをしていく必要があるものとする。また、そもそも事務事業の目的として「栄養の補給」ということが掲げられており、当該目的自体の妥当性についても検証したうえで、市の事業として何をどこまで実施するのかをめぐり考え方の整理が必要である。

見守り対策としての本事業の見直しに当たっては、高齢者の見守りのニーズをできる限り把握し、他の事業も含めた高齢者の見守り施策全体を通じ、真に見守りが必要な方への対応に漏れが生じることのないよう、仕組みを整理していく必要がある。

総じて、高齢者の見守り施策全体が市民にとってわかりやすく、市として積極的にPRしていくことができるものとすべく、全体的な見直しを図りたい。

## 外部評価結果を受けての担当課所見

本事業は、高齢者が地域で孤立することを防止し、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする高齢者の見守り対策のひとつとして、これまで一定の成果を上げてきている。しかしながら、これだけ高齢化が進んだ現在では、重層的に見守りの対象になっている方については一定程度見直しが必要であり、介護保険サービスなど他の事業との整理を検討していきたいと考えている。

## 課題及び今後の対応について（行財政改革推進本部）

担当課の考え方により取組みを進めていくこととする。本事業は、財政健全経営計画実行プランにおいて個別項目「高齢者の見守り体制の見直し」として掲げられている事項であることから、進行管理には十分に留意するべきである。